

倉吉ことばの会 第8回講演会

2021年2月13日（土）

於倉吉未来中心セミナールーム3

「見れる」「着れる」は普通の言い方！
— 倉吉方言におけるら抜きことばの現状とその発展 —

桑本 裕二


公立鳥取環境大学

ら抜きことばとは？

「～できる」という可能の表現で用いる場合：

- ▶ 見れる 正しくは 見られる
- ▶ 着れる 正しくは 着られる
- ▶ 食べれる 正しくは 食べられる
- ▶ 来れる 正しくは 来られる

：



乱れた
言い方
と言わ
れる

2

正しい可能表現「れる」「られる」

▶ 「れる」

▶ 五段動詞： 行く → 行かれる

▶ サ変動詞： する → *される (☞ 「できる」に変換)

(井上 1998:19)

▶ 「られる」

▶ 上一段動詞： 見る → 見られる

▶ 下一段動詞： 食べる → 食べられる

▶ 力変動詞： 来る → 来られる

このように使います

- ▶ 行かれる：コロナ禍が終息し、ようやく海外旅行へ行かれます。
- ▶ サ変動詞は略
- ▶ 見られる：このあたりの川では、もうホテルは見られません。
- ▶ 食べられる：お腹がすいているので、まだ食べられますよ。
- ▶ 来られる：雪が解けたので、車で来られます。

標準語では...

- ▶ 見れる：老眼で、細かい字が見れません。
- ▶ 着れる：大分古くなったけど、この服はまだ着れます。
- ▶ 食べる：もう一皿、食べれますか？
- ▶ 来れる：タクシーだったら、1,000円以内で来れるでしょう。

倉吉方言では...

- ▶ 見れる : 老眼で、こまい字が見れんわい。
- ▶ 着れる : だいぶ古うなったけど、この服はまんだ着れっぜ。
- ▶ 食べれる : もう一皿、食べれったら？
- ▶ 来れる : タクシーなら、1,000円以内で来れようやー。



pixta.jp - 70251259

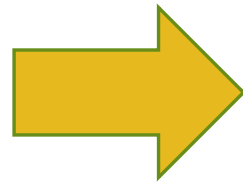
これはなんでか？

標準語の「行かれる」（行くことができる）の違和感について

- ▶ そもそも「れる」「られる」形式には4つの意味がある。今問題の「可能」以外に、
 - ▶ 尊敬：先生が来られた。
 - ▶ 受動：カエルがヘビに食べられた。
 - ▶ 自発：昔のことが俵れる。
- ▶ 「可能」に限り、五段動詞にのみ、行かれる → 行けるという「可能動詞」が派生。（室町時代の「読む」「読めた」などがさきがけと考えられる（井上 1998:16, 大津他 2002:231））。

「行かれる」 → 「行ける」 は ar抜きことば？

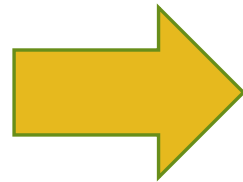
行かれる
ikarereru



行ける
ikeru

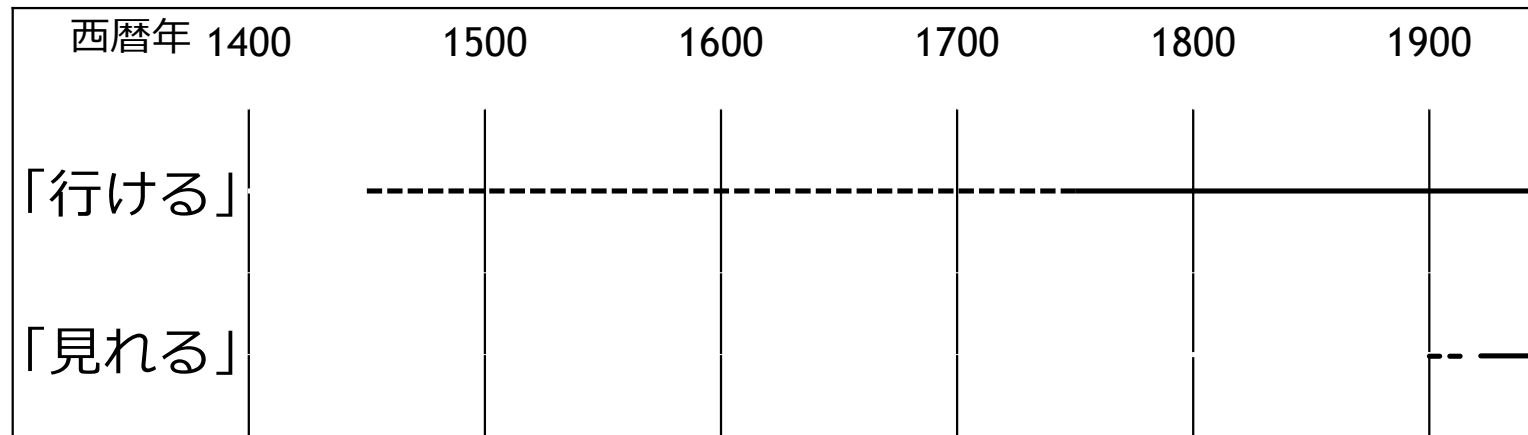
「見られる」→「見れる」もar抜きことば？
(桑本 2010:61ff.)

見られる
mirareru



見れる
mireru

「行ける」と「見れる」の出現



渋谷 (1993:124)を基に作成

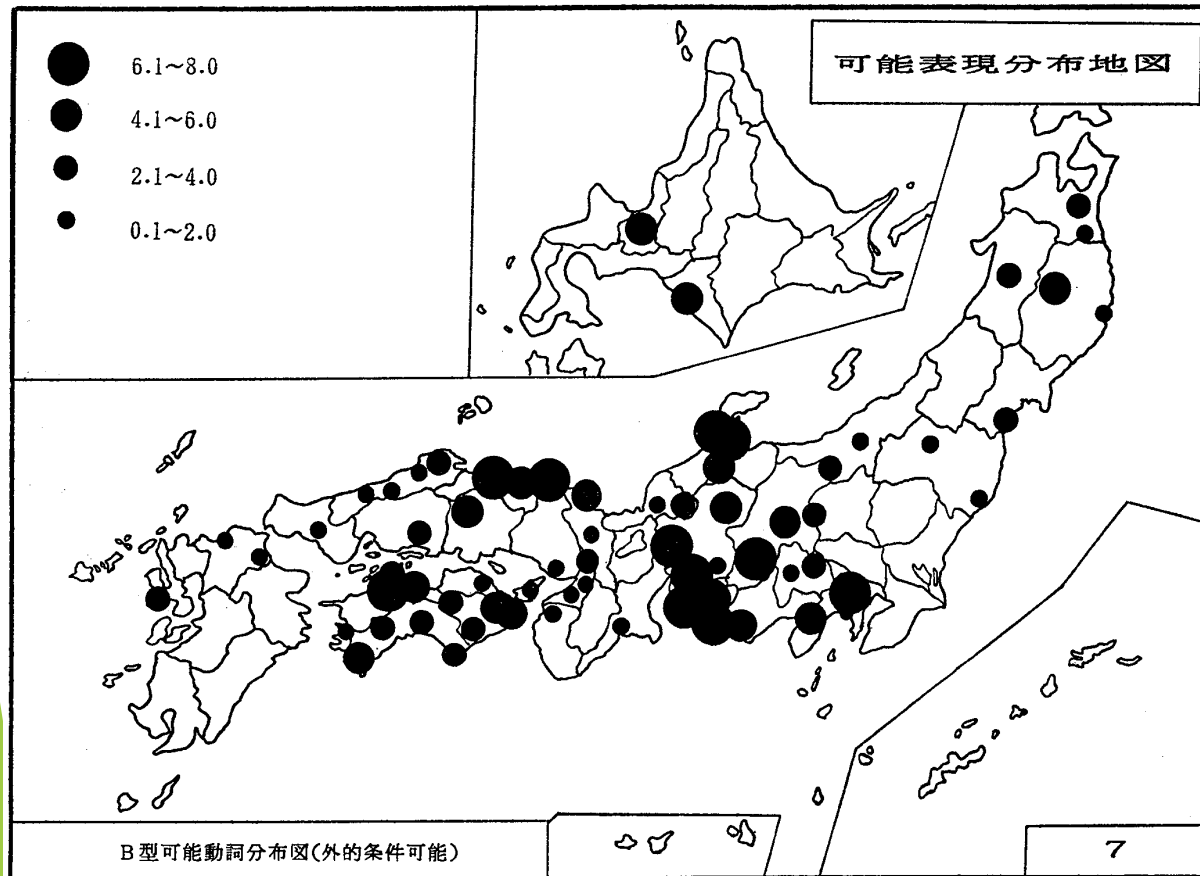
井上 (1998:2f.) には昭和初期に記録されたとあり、発生時期は大正年代と推定している。

東京でのら抜きの出現と定着（井上 1998より）

- ▶ 発生は大正年代。
- ▶ 戦後すぐ（1949年）の調査で、児童、成人とも「来れない」「食べれない」は数%～十数%。
- ▶ 1970年の追跡調査で、小学生（1950年代生まれ）の半数。
- ▶ 1987年の首都圏女子大生（1960年代生まれ）のデータで80%台の使用率。

井上 (1998) の出版から23年経つ現在では、もっと進行していると考えられる。

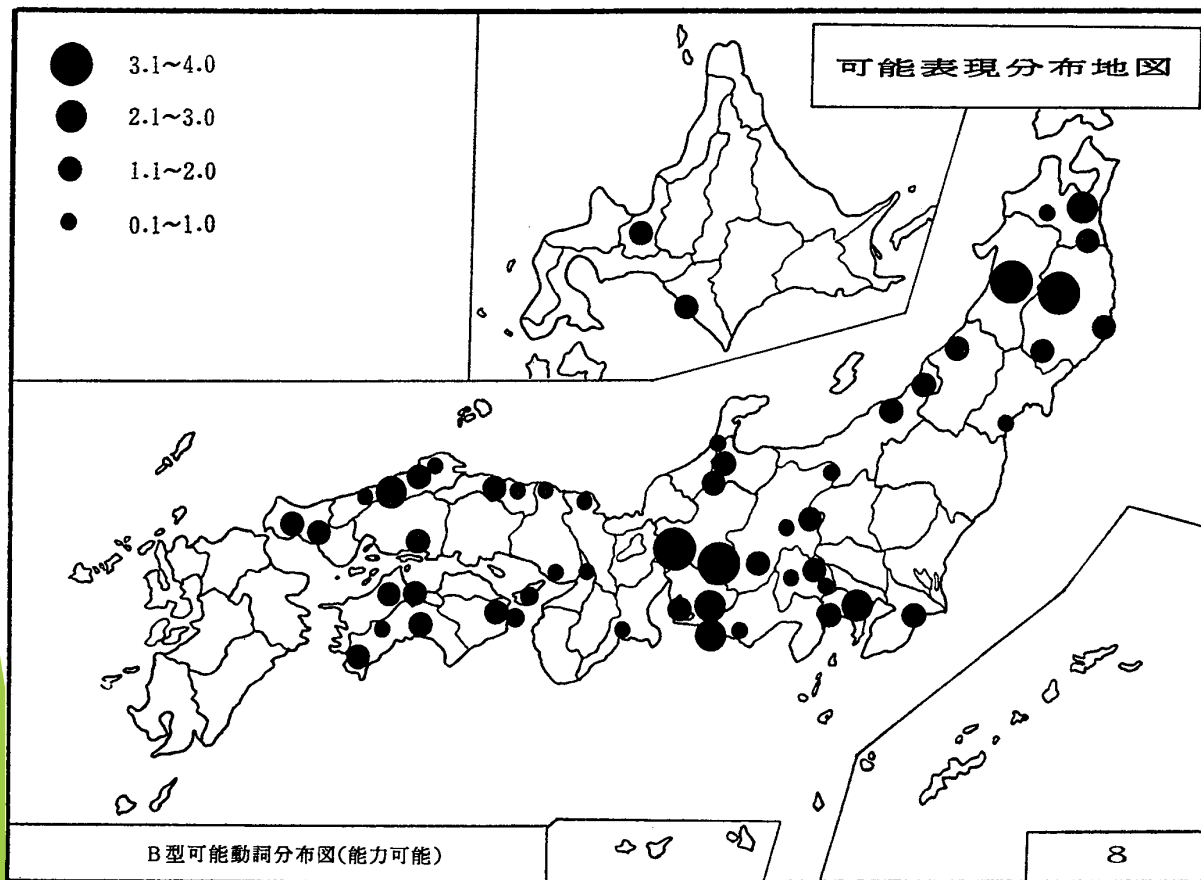
東京（およびそれに影響を受けた地方）でのら抜きは地方から入ってきた（らしい）！



外的条件可能：
「賞味期限内な
ので、まだ食べ
れる」などと言
うかどうか。
（回答者は平均
1910年頃の生まれ）

渋谷 (1993:186)

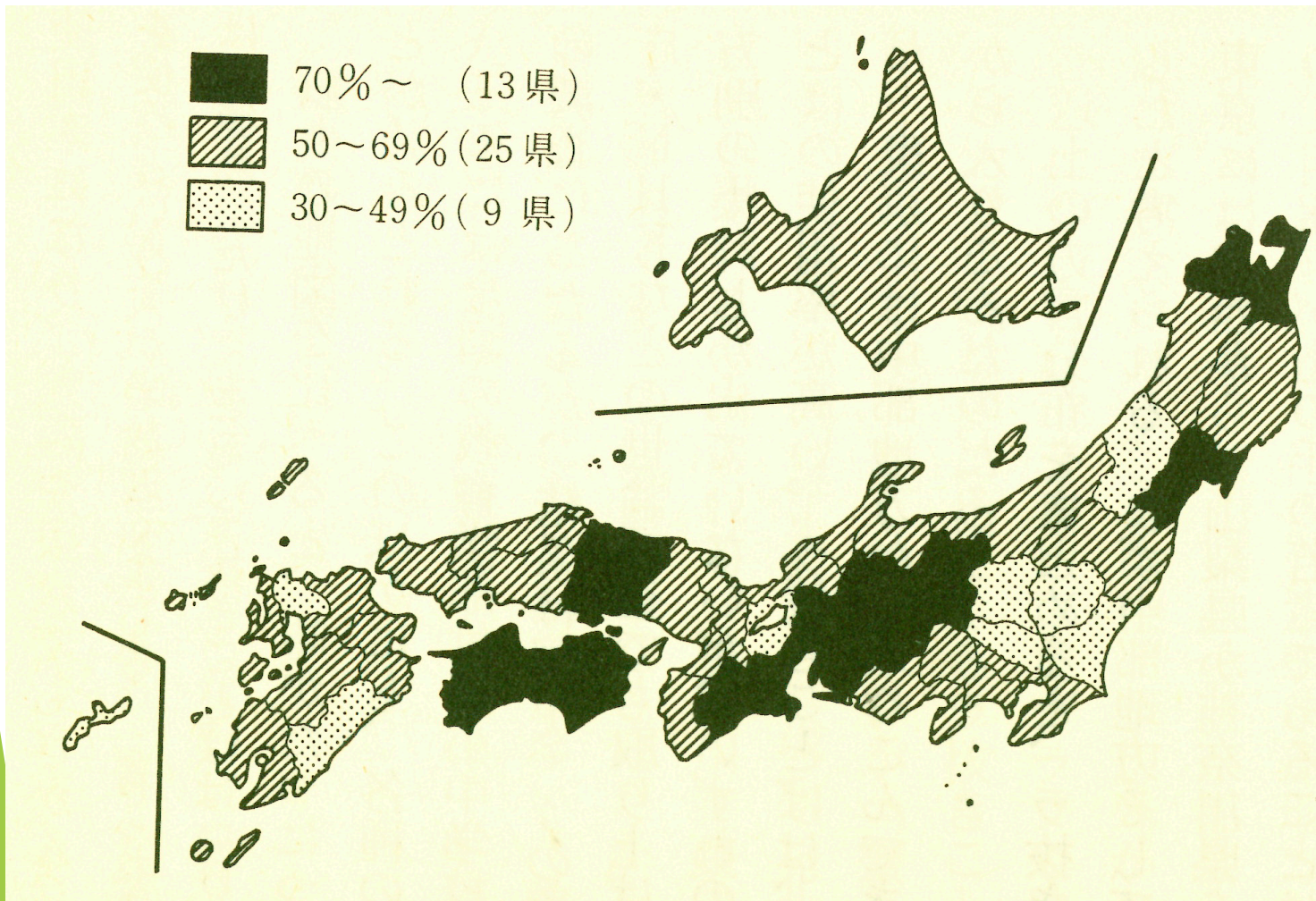
東京（およびそれに影響を受けた地方）でのら抜きは地方から入ってきた（らしい）！



能力可能：
「大人になって、
椎茸が**食べれる**
ようになった」
などと言うかど
うか。

（回答者は平均
1910年頃の生まれ）

渋谷 (1993:187)



1994年における、
 1950年代前後生
 まれに対するら
 抜き出現の調査
 (「着れる」の
 使用率) (井上
 1998:7)

倉吉方言のら抜きことばの実態

「着ることができる」は？

着れる



普通に使う！

着られる



普通は言わない！

否定形は？

着れん → 着ることができない (不可能)

「子供の服だけえ、もう着れんわい。」

着られん → 着てはいけない (禁止)

「葬式に赤い服、着られんで」

五段動詞の場合（倉吉方言で）

「行くことができる」は？

行ける



普通に使う！

☞ 標準語の可能動詞と同じ

行かれる



普通は言わない！

☞ 標準語のわりと古い「-れる」可能形と同じ

五段動詞の否定形の場合（倉吉方言で）

行けん → 行くことができない
雪で、汽車で行けんやーんなった。

行かれん → 行ってはならない
子供が一人で外に行かれんで。

「走られる」などの標準語では廃れた可能形の否定形も禁止の表現として不可能の表現と区別される。

- ▶ 走られん／走れん
- ▶ 読まれん／読めん
- ▶ 歩かれん／歩けん
- ▶ 嗅がれん／嗅げん
- ▶ 言われん／言えん
- ▶ 書かれん／書けん
- ▶ 押されん／押せん
- ▶ 引かれん／引けん
- ▶ 立たれん／立てん
- ▶ 座られん／座れん
- ▶ 怒られん／怒れん
- ▶ 笑われん／笑えん

「されん」「すられん」

- ▶ 倉吉方言には、「してはいけない」（禁止）の意味で、「されん」「すられん」がある。

そんなこと、今、**されん**！

そんなこと、今、**すられん**！

- ▶ 「されん」と「すられん」の間には、なんら実質的な意味の違いはない。

「されん」の分析

- ▶ 「する」の「-れる」後続形「される」（可能以外での用法はある）
 - ▶ 乗車**された**お客様（尊敬）
 - ▶ 書類が提出**される**（受動）
 - ▶ 「自発」は略。
- ▶ 倉吉方言で、**「 possible の「される」」**（実際には存在しない）の否定形として**「されん」**がある！

「すられん」の分析

- ▶ す-られ-ん と分析すると、「す」がわからない。
- ☞ 「する」の未然形は「し」（-ない）、「せ」（-ず（ん））、「さ」（-れる/-せる）なので。
- ▶ すら-れ-ん と分析。
- ☞ 「すら」は、「する」が、サ行変格活用ではなく、まるで五段活用になったように活用した結果である。

間違った活用形

未然

すら

連用

すり

終止

する

連体

する

仮定

すれ

命令

すれ

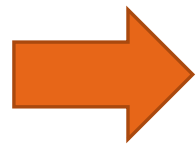
本当は し,さ,せ

し

せよ,しろ

「する」に対する可能の形「することが
できる」に対応する、否定形

- ▶ 「することができない」という意味の、「する」
を語幹とし「れる」を後続させた語形は（標準語
と同様）存在しない。（当然、肯定形もない）



「できん」としかいえない。

れ足すことば

「読むことができる」は？

読める

の他に...

読めれる

これを、れ足すことばという。

もあり。（意味はほとんど同じ！）

字が小さいけど、まんだ読めっぜ。
字が小さいけど、まんだ読めれっぜ。

否定形もある！

行けん



行くことができない

行けれん

雪で、汽車で行けんやーんなった。

雪で、汽車で行けれんやーんなった。

行けん／行けれん／行かれん

という3つの同じような語形を区別している。

「-れる」「-れれん」はない！

【一段動詞（ら抜き）】

- ▶ 見る → みれる／みれん／*みれる／*みれれん
- ▶ 止める → とめれる／とめれん／*とめれる／*とめれれん
- ▶ 確かめる → たしかめれる／たしかめれん／*たしかめれる／*たしかめれれん

【一段動詞（ら抜きでないもの）】

- ▶ *見られれん／*とめられれん／*たしかめられれん

【五段動詞可能動詞（ら抜き関係なし）の「-れる」で終わるもの】

- ▶ 走れる → *はしれる／*はしれれん
- ▶ 切れる → *きれれる／*きれれん

「行く」の場合

- ▶ 「行ける」と「行かれる」は大差ない。
- ☞ ただし、「(酒が) いける口」という文脈では、「いける」「いけれん」は使えない。
- ▶ 「行けん」と「行けれん」だと、「行けれん」の方が頻度が高い(ような気がする)。
- ☞ 「いけん」は、「だめだ」の意味で使い、単独で感動詞のように使う場合もあって、標準語の「いけない」よりも多用されている様子である。そのため、「行くことができない」の意味で「行けん」が使いにくいのではないか。

「ダメだ」の意味の「いけん」の例

- ▶ **いけん**がな、そんなことでは。
(ダメでしょ、そんなことでは。)
- ▶ あっ、**いけん**！
(あっ、ダメ！)
- ▶ **いけん**こたあないぜ。
(ダメだと言うことはないよ。)

「いけん」の肯定形「いける」の例

そんなことでいけるかいや。
(そんなんでいいと思ってるの?)

今日の講演のまとめ

- ▶ 中央（東京中心の地域）で「みだれ」といわれるら抜きことばは、もともとは地方の（正しい）言い方から来ていた！ 倉吉、幅広くいえば鳥取県の方言はそのうちのひとつである。
- ▶ 倉吉の方言のら抜きをめぐっては、特に否定形で「着れん」（不可能）vs.「着られん」（禁止）のような方言特有の意味の区別をみせる。
- ▶ ら抜きことばに加えて、「読めれん」などのれ足すことばもある。「-れれん」となるものが存在しないなどの制約はあるものの、「れ」の有無は意味にほとんど関係ない。

参考文献

- ▶ 井上史雄 (1998) 『日本語ウォッチング』 東京：岩波新書.
- ▶ 大津由紀雄他編 (2002) 『言語研究入門 生成文法を学ぶ人のために』 東京：研究社.
- ▶ 桑本裕二 (2010) 『若者ことば不思議のヒミツ』 秋田：秋田魁新報社.
- ▶ 渋谷勝己 (1993) 「日本語可能表現の諸相と発展」『大阪大学文学部紀要』 33-1, 262p.